

# J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

東日本大震災復興支援

## 第67回国民体育大会 セーリング競技

主催 公益財団法人日本体育協会・文部科学省・岐阜県・公益財団法人日本

2012  
ぎふ清流国体

大会会長トrophée授与  
記念品授与



# NO.97

[www.jsaf.or.jp](http://www.jsaf.or.jp)



みんなに伝えたい。  
オレオのおいしい食べ方、TSD!!



**TWIST**  
回して  
はずす!



**SCOOP**  
クリームを  
すくって!



**DUNK**  
牛乳に  
浸します!



**NEW** チョコレート  
クリーム



# JSAFからのメッセージ

## 若手セーラーたちに元気を

昨年の東日本大震災で、JSAFは日本体育協会やJOCに加盟するスポーツ団体の中で最も大きな被害を受けた団体のひとつでしょう。

全国のセーラーからの支援により、被災地のセーラーたちがインターハイ、インカレ、そして国体に参加できたことを喜んでいきます。今夏には、東北ユースから選抜された高校生6名がサンフランシスコを訪問し、米国のセーラーたちと交流してきました。昨年から今年にかけていろいろな大会に参加した若手セーラーたちの笑顔が、何よりも我々を元気にしてくれました。

JSAFでは、ここ2年余りユース世代の制式艇種について議論してきました。千葉国体でのアンケート調査、全国指導者が参加する講習会での討議、高体連との話し合い、都道府県連の意向調査などを踏まえ、420級とレーザー級を採用することになりました。厳しい経済状況のもと、制式艇種の普及のためJSAFおよび都道府県連、さらに420級やレーザー級など艇種別協会が協力し、艇を揃えレースを開催することになりました。現在2015年までに420級を100艇、購入することを目標にしています。JSAFホームページに「高校生に420を！」として募金をお願いしております。(詳細は11ページ)

JSAFユースワールドでは420級が採用されており、昨年の大会では日本の高校生が銀メダルを獲得しています。JSAFとしてインターハイ、国体、国際レースの艇種を統一し、長期戦略に基づき一貫指導体制を確立していきたいと考えています。

オリンピック選手強化も含めたグローバルな艇種採用、少子高齢化で減少するユース世代のサポート、インターハイや国体の活性化など、ユースをはじめとする若手セーラーたちに夢を与え、元気になってもらいたいと願っています。

若手セーラーたちの元気が、将来のセーリング界の隆盛につながって行きます。会員の皆様方にはご支援、ご協力をたまわりたく、よろしくお願い申し上げます。

## JSAFのメンバーになれば

- ・メンバーズカードが発行され、公式競技参加の資格が与えられます。
- ・会費の一部が傷害保険の保険料に充当され、セーリングの事故による死亡、後遺障害に適用されます。
- ・JSAFの会報誌「J-SAILING」が送付されます。(高校・ジュニアを除く)
- ・各種講習会などに参加でき、資格を取得する際の条件に適用されます。
- ・「J-SAILING」をはじめ、所属する加盟団体からもセーリングに関する各種行事やレース日程などの情報が提供されます。

加入、更新手続きの詳細は各加盟団体にお問い合わせください。

<http://www.jsaf.or.jp/dantai/>

# 佐賀県が 天皇杯獲得!! 皇后杯は 地元岐阜県!



東日本大震災復興支援 第 67 回国民体育大会セーリング競技会  
2012年 10月 4日～ 7日、愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー

「輝け はばたけ だれもが主役」、「心をひとつに 日本再生」を合言葉に、  
第 67 回国民体育大会セーリング競技会が 10 月 4 日～ 7 日にかけて行われた。  
「ぎふ清流国体」ではあるが、セーリング競技は唯一県外開催として、  
愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバーで開催することとなった。参加状況は監督・選手 567 名、参加艇数 343 艇であった。

レポート／森信和 (JSAF 国体委員会副委員長) 写真／濱谷幸江

## 成年男子 470 級



1位 福岡 土居／外園



## 成年男子 国体シングルハンダー級



1位 愛知 永井久規



## 成年男子 国体ウインドサーフィン級



1位 岐阜 金子岳司



### 様々な改革を試みる

今回の「ぎふ清流国体セーリング競技」は岐阜県ヨット連盟と愛知県ヨット連盟が共同して準備が進められた。昨年の山口国体同様、東北三県の支援の一環として、チャーター艇の準備、支援募金などの復興支援に力を合わせることできた。

また、今回は国体の様々な改革を試みたが、大会組織の統合、競技役員削減、全艇種の事前計測、レース後のピックアップ計測、海上自衛隊の支援をやめ自前による救助体制の確立など、今までにない国体の簡素化が行われた。

さらに「見える国体・見える国体」としてB海面のフィニッシュは、陸上から選手が見える位置に設置された。この結果、陸にいる観客からも声援が飛び、選手と観客が一体となった演出がなされ、大盛況だった。

### 台風17号の直撃

大型で強い台風17号が海陽ヨットハーバーを直撃した。9月30日夜から10月1日の早朝にかけ愛知県東部に上陸した台風は、最大風速35m、時速45kmの速さで襲い、その後、関東に向け通過した。

岐阜県実行委員会は台風への対応に追われる忙しいスタートとなったが、大会会場に被害はほとんどなかった。いったん撤収した会場のテントや桟橋を10月2日に再びセットし直し、大会開催の準備に備えた。関係者もホッとした。

### 計測

計測については、計測のポイント及びクラスルールポリシーを重視し、シングルハンドのシーホッパー級及びSR級はアンカー、パドルの搭載を義務づける旨を、各選手団に事前に文章で周知した。

10月2日の朝、各都道府県の計測の順

**成年女子  
セーリングスピリッツ級**



1位 岡山 吉迫／大熊



**成年女子  
国体ウインドサーフィン級**



1位 岐阜 小嶺恵美



**成年女子  
シーホッパー級スモールリグ**



1位 東京 富部柚三子



番をくじ引きで決定した。くじを引くたびに各都道府県から歓声が上がった。

470級、ウインドサーフィン級については計測場で実施したが、SS級、シーホッパー級やSR級については計測員が各都道府県のベースに向く出張計測方式で行ったため、計測場所の削減、計測時間の短縮が図られた。

今大会はウインドサーフィン級も含め事前の全艇計測が実施され、さらにレース後の上位艇についてはビックアップ計測を行うなど新たな試みも行われ、選手、監督からも計測の意識の改革がなされたという意見もいただいた。

10月3日。トライアルレース・開始式

この日、午後からトライアルレースが

## 少年男子 セーリングスピリッツ級



1位 佐賀 岡田／宮口



## 少年男子 シーホッパー級スモールリグ



1位 佐賀 樋口碧



## 少年女子 セーリングスピリッツ級



1位 鳥取 平岡／西尾



始まったが、風が弱く不安定な海上気象のため、D旗で出艇コントロールをすることになり、1時間遅れで両海面ともスタートした。

開始式が午後4時30分からハーバー内の大型テントで行われた。

地元蒲郡市の「ちゃらほこ保存会」による太鼓の歓迎セレモニーが行われ、また大塚小学校4年生57名による岐阜国体マスケットキャラクターの「みなもダンス」が披露され、参加者からは盛大な拍手を受けていた。

その後、監督会議が行われた。会議で配布された資料には無駄がなく、また、パワーポイントを使つての映像による説明は非常にわかりやすかった。本部船に掲示するクラス別コース、コンパス方位、マーク移動の方法についてはパネル化するなど、手順の簡略化が図られていた。また、役員数の削減なども含めて、運営を簡素にしていることがはっきりとわかった。

### 10月4日。レース1日目

朝から風速5〜8m、風向300度の蒲郡の風が入り、絶好のセーリング・コンディション。予定どおりA海面は成年男子470級、B海面は成年男子国体ウインドサーフィン級がスタートした。

午後も順調にレースは進み、日本体育協会国体委員長の海上視察もあり、成年女子セーリングスピリッツ級のレース観戦をしていた。

SS級のジエネカーアップのスピード感を見張る迫力で、カッ飛ば「じゃじゃ馬」のようにセーリングする姿はまさにハイ・パフォーマンス艇の醍醐味であり、各種目予定どおり各2レース、計20レースを実施することができた。

### 10月5日。レース2日目、珍しい抗議(広告)

この日も朝から風速6〜9m、風向

# 少年女子 シーホッパー級スモールリグ



1位 佐賀 多田緑



290度の風が入り、レースは順調に進み、予定どおり各種目2レース計20レースを実施することができた。2日目にしつて各種目4レース合計40レースを蒲郡の風の中で行うことができ、選手も満足していた。

この日、成年男子470級の選手から「広告」について抗議が出された。

企業名のロゴステッカーがレース中に見えたことに対する抗議だった。レース艇に貼られた企業名はガムテープを貼って隠すように計測時に指摘されているが、レース中に剥がれた状態でレースに参加したことに對する抗議だった。最初に出された結論と適用規則は左記の通り。

◎国際470級はISAFクラスであることから、ISAF規定20・3・2に基づいているため、艇に広告を表示する権利が与えられている帆走指示書の指示2は470級には適用されないことから、抗議は却下された。

しかしその後、プロテスト委員会は重大な誤りを犯したと自ら判断したため、RRS66に基づき審問を再開し、追加の事実を認定し、左記のように結論・適用規則と判決を訂正した。

◎「国民体育大会企業協賛に関するガイドライン」には団体協賛社等以外の広告等の掲出は原則として禁止すると規定されている。

◎このガイドラインに従わなかったことから、ISAF広告規定20・2・4に違反している。

◎帆走指示書指示2に違反している。結果、ペナルティを課せられたが実質的には着順の得点となり、剥がれなように補強し随時確認をする警告としての判決であった。

団体でも、広告について日体協は取り入れる方向ではあるが、現在は大会全体の広告のみしか許されていない。

## 10月6日。レース3日目

この日は風が2m前後と弱く、スタート予定の10時なくても風が吹かない状況が続き、出艇はしたものの両海面とも風が弱く海上待機。

その後、B海面はハーバーに近いことからいったん陸上に帰った。

A海面は徐々に240度の風がそよよと吹き出し、11時55分にスタートをしたがゼネラルリコール、再度1旗適用でスタートしたがゼネラルリコールとなり、今度は黒色旗適用で12時04分にスタートすることができた。

この日は両海面で16レースを予定していたが、風が弱く10レースしか実施することができなかった。

海上運営担当者もレースに最大の努力をしたが、天候だけはどうしようもなく、成年男子470級 シングルハンター級、ウインドサーフィン級、成年女子ウインドサーフィン級、少年男子SS級、SR級6種目は5レース（1レースカット）の実施で終了となった。

## 10月7日。レース4日目（最終日）

4日目はすがすがしい天気でレース日和となり、朝から5m前後の風が吹き、4種目各1レースが予定時刻どおりスタートし、11時過ぎには全レースが終了した。

これで成年女子及び少年女子のSS級、SR級は予定した6レースすべてを実施することができた。

結果、予定していた60レース中、54レースが実施され、風も微風から強風までの「蒲郡の風」が吹き、天候にも恵まれ、素晴らしいレース運営だった。

成績は佐賀県が天皇杯102点で優勝、皇后杯は開催県の岐阜県が54点で優勝した。

今大会は団体の改革、簡素化が試みら

れ、今後団体を開催する県に見本を提示できた大会として評価できる大会であり、岐阜県ヨット連盟、愛知県ヨット連盟の共同による運営資質の高さや気配りが色々な場面で発揮されていた。

ヨットハーバーの芝生広場には、パラスール付きテーパー、椅子を置いたオーブンカフェの休憩施設、クラブハウス2階にはチャイルドルームも用意された。チャイルドルームは今までの団体の中でもっとも利用者が多く、ISAFレディーズ委員会から3名と地元2名のスタッフで対応していた。

「見える団体」として岐阜県の間伐材を利用したベンチを堤防の後ろに置いたが、観戦者からも好評だった。

また、大型テントの休憩所では映像によるレース解説や選手の間伐材も行われ、B海面のフィニッシュは休憩所からも見える位置にあり、レース解説と映像、直接見えることからセーリング競技を身近に感じてもらった。

10月6日の土曜日にはクルーザー3艇に小学生、保護者を乗せ、海上からのレースを観戦してもらった。トップクラスのセーリングを目の前で見ることができ、子どもたちも喜んでいました。

今大会は全体的にコンパクトにまとめられ、簡素な中にもおもてなしや大会を楽しむ気配りがいくつも準備され、団体のあるべき姿が表現された素晴らしい大会だった。

最後に大会開催にあたり海陽ヨットハーバー、三谷漁業協同組合、大塚小学校、三谷東小学校及び蒲郡市、ボランティア団体など多くの関係者のご支援に感謝を申し上げます。

また、長年にわたり、ご尽力いただいた岐阜県、岐阜県ヨット連盟、愛知県ヨット連盟の皆様へ深くお礼を申し上げます。





# 東日本大震災復興支援 第67回国民体育大会セーリング競技会成績

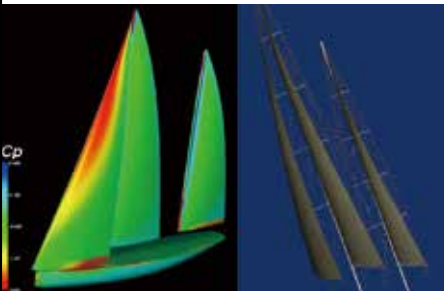


**秋冬特別割引実施中**  
10月1日～2月28日まで  
クルージングセール  
レーシングセール  
ワンデザインセール  
ディンギーセール

修理、加工、清掃及び全体修理  
シーズンオフ期間セール預かり  
(最大4ヶ月・着脱サービス有り)

[www.quantum-jpn.com](http://www.quantum-jpn.com)

艇種にあわせた最適なセールをご提供いたします。  
全国各地承ります。



**ワッツ・マリン**

**秋冬特別割引実施中**  
10月1日～2月28日まで

～オリジナル制作～

- ・ボート&セイルカバー
- ・フェンダーカバー
- ・マットフェンダー
- ・カスタムオーニング
- ・フレーム加工

～修理、加工、サービス～

- ・リギンメンテナンス
- ・ウインチメンテナンス
- ・カバー全般修理&改造
- ・ソフトグラス交換&清掃

～販売～

Donaghysヨットロープ(加工有)  
艇種用品

[www.wattsmarine.jp](http://www.wattsmarine.jp)

(株)セイルス・バイ・ワッツ・ジャパン

本社ロフト

〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町8-40  
電話:046-882-5451 fax:046-882-4319

関西営業所:(新西宮YH)

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜4-14-3  
電話:0798-23-6410 fax:0798-23-6420

## 成年男子

### 470級

- 1位 福岡 土居・外園
- 2位 鹿児島 坂口(英)・今村
- 3位 東京 八山・飯束
- 4位 佐賀 牟田口・吉田
- 5位 和歌山 市野・佐藤
- 6位 神奈川 石川・阿部
- 7位 山口 小泉・山近
- 8位 千葉 長橋・中野

## 皇后杯

### 女子総合優勝

- 1位 岐阜
- 2位 佐賀
- 3位 和歌山
- 4位 東京
- 4位 鳥取
- 4位 岡山
- 4位 山口
- 8位 兵庫

## 天皇杯

### 男女総合優勝

- 1位 佐賀
- 2位 岐阜
- 3位 山口
- 4位 和歌山
- 4位 福岡
- 6位 神奈川
- 7位 東京
- 8位 千葉
- 8位 鳥取
- 8位 岡山

## 成年女子

### セーリング スピリッツ級

- 1位 岡山 吉迫・大熊
- 2位 和歌山 宮川・栗栖
- 3位 岐阜 渡邊・伊藤
- 4位 山口 内冨・矢野
- 5位 大分 後藤(季)・安部
- 6位 佐賀 重・宮崎
- 7位 広島 高橋・田村
- 8位 神奈川 矢口・板倉

## 成年男子

### 国体ウインド サーフィン級

- 1位 金子岳司 岐阜
- 2位 松尾康宏 大阪
- 3位 富澤慎 新潟
- 4位 寒河江聡志 山形
- 5位 増淵聖士 京都
- 6位 小川達郎 東京
- 7位 鳥取雅嗣 広島
- 8位 市川和典 静岡

## 成年男子

### 国体シングル ハンダー級

- 1位 永井久規 愛知
- 2位 南里研二 佐賀
- 3位 谷口齊謙 和歌山
- 4位 前田博志 広島
- 5位 内野航太 岐阜
- 6位 齋藤大輔 秋田
- 7位 藤村裕二 山口
- 8位 高村幹治 山梨

## 少年男子

### セーリング スピリッツ級

- 1位 佐賀 岡田・宮口
- 2位 山口 小泉・有岡
- 3位 神奈川 須河内・芦澤
- 4位 福岡 鈴木・岩城
- 5位 岐阜 稲垣・鈴木
- 6位 滋賀 吉永・二井谷
- 7位 千葉 今井・古坂
- 8位 茨城 井嶋・木村
- 9位 兵庫 藤本・藤下 34
- 10位 東京 小木曾・渡辺

## 成年女子

### 国体ウインド サーフィン級

- 1位 小嶺恵美 岐阜
- 2位 小菅寧子 新潟
- 3位 須長由季 東京
- 4位 堀川智江 神奈川
- 5位 伊勢田愛 滋賀
- 6位 三石真衣 千葉
- 7位 鎌石恵子 埼玉
- 8位 上田ちひろ 兵庫

## 成年女子

### シーホッパー級 スモールリグ

- 1位 冨部柚三子 東京
- 2位 多田桃子 和歌山
- 3位 原田小夜子 長崎
- 4位 佐藤麻衣子 福岡
- 5位 谷内志緒里 石川
- 6位 松苗幸希 北海道
- 7位 土居愛実 神奈川
- 8位 藤井あゆ美 福井

## 少年女子

### シーホッパー級 スモールリグ

- 1位 多田緑 佐賀
- 2位 村山仁美 東京
- 3位 神谷花実 静岡
- 4位 岸祐花 神奈川
- 5位 鄭愛梨 兵庫
- 6位 近藤かな 北海道
- 7位 土屋渚 愛知
- 8位 林優季 石川

## 少年女子

### セーリング スピリッツ級

- 1位 鳥取 平岡・西尾
- 2位 佐賀 中山・真鍋
- 3位 岐阜 近藤・安田
- 4位 兵庫 力石・瀬川
- 5位 千葉 木村・根本
- 6位 山口 仲山(好)・仲山(景)
- 7位 大分 平原・永松
- 8位 東京 國見・大島

## 少年男子

### シーホッパー級 スモールリグ

- 1位 樋口碧 佐賀
- 2位 杉山航一朗 静岡
- 3位 平川竜也 神奈川
- 4位 玉山千登 福岡
- 5位 永松礼 大分
- 6位 近藤碧海 和歌山
- 7位 硯来斗 岐阜
- 8位 諸岡達人 長崎



# 〈JSAF 2015年ユース国体新艇種採用に関するアンケート調査結果〉

平成24年1月21日のJSAF理事会審議で承認を受けましたユース世代制式艇種基本方針(2015年に開催を予定されている和歌山国体と和歌山インターハイに向け、ダブルハンド競技艇に国際420級を採用すること、また国体競技についてはシングルハンド競技艇にレーザーラジアル級を採用すること)は3月10日、11日に行われたJSAF全国代表者連絡会議および評議員会で質疑応答を行い、次のステップに進むことになりました。

制式艇種実行委員会は、ユース世代制式艇種基本方針の実現に向け、各都道府県ヨット、セーリング連盟にご協力をお願いするにあたり、地域のユース世代を対象に①制式艇種を準備し、②指導者の育成を行い、③国体競技やインターハイ競技、国際レース競技の参加と活躍を目標にしていきたい、と考えました。

そのために、①国際420級の艇購入の経済的支援を通じて普及を目指す。②地域指導員を育成する。③高体連との連携促進。国際レースのプロモーションと指導、参加者への経済的援助等を行うことを進めて行く予定です。

先の評議員会では、国体競技ユースシングルハンド競技艇にレーザーラジアル級を採用することに合わせ、国体競技成年男女シングルハンドにそれぞれレーザー級、レーザーラジアル級を採用した方が好ましいとの意見が出ました。

ここで紹介するアンケート調査は、まず日本国内の現状を把握し、ユース世代制式艇種基本方針と国体競技の成年男女シングルハンドをどのように進めるのが好ましいか、各都道府県連盟のご意見、ご要望を聞かせていただきたいという趣旨で行いました。(ユース制式艇種実行委員会)

JSAF 2015年 ユース国体新艇種採用に 関するアンケート調査 No.1		①各都道府県内ユース世代活動状況調査								
		1. ユース世代活動団体状況								
2012年7月7日	アンケート回答状況 回答有り 47 回答率 100.00%	高校ヨット部数	113校	実動高校ヨット部数	105校	部員数	1179人	ユースクラブ等 人数	88団体 723人	
		体部中のヨット部も含む。								
		2. 420級 艇保有状況			保有艇有り都道府県連					
		全体艇数	111艇		団体数	3 6.4%				
		連盟保有艇数	13艇		※保有率は回答のあった30都道府県連					
		3. レーザー級 艇保有状況			保有艇有り都道府県連					
		全体艇数	741艇		団体数	13 27.7%				
		連盟保有艇数	32艇		保有率は回答のあった30都道府県連					
		4. レーザー級 リグ保有状況								
		4.7・リグ：104本 ラジアル・リグ：459本 スタンダード・リグ：483本								
		② 420級 艇購入に関する調査								
		1. JSAF 幹旋艇の購入の有無								
		希望する	希望しない	未回答または未定						
		38	6	3						
		81%	13%	6%						
		2. 購入を予定する団体 (複数回答有り)								
		都道府県連	行政(県体協等)	未回答または未定	その他					
		27	8	8	4					
		57%	17%	17%	9%					
		3. 購入予定艇数								
		回答件数	1艇	2艇	3艇	4艇	5艇	6艇	7艇	9艇
			2	11	3	12	2	5	2	1
		4. 購入予定時期								
		合計艇数	都道府県連数	1艇		2艇	3艇	4艇	9艇	
		2012年度	24	15	9	3	3			
		2013年度	27	20	13	7				
		2014年度	36	19	9	8			1	
		2015年度	16	9	4	4		1		
		未定	41	9						
		③少年男女種目のレーザーラジアル級 艇購入に関する調査								
		1. 購入を予定する団体、他								
		都道府県連	高等学校	行政(県体協等)	ヨットクラブ	個人	その他	未定		
		20	0	9	1	2	2	13		
		43%	0%	19%	2%	4%	4%	28%		
		2. JSAFの購入幹旋希望の有無								
		希望する	希望しない	未回答						
		30	11	6						
		64%	23%	13%						
		④成年男子、成年女子シングルハンドに関する調査								
		1. 成年男子シングルハンドをレーザー級に変更する事について								
		現行のまま	変更すべき	未回答						
		15	29	3						
		32%	62%	6%						
		変更すべきとお答えの方にお伺いします。具体的な時期は？								
		2015年和歌山	2016年岩手	2017年愛媛	2018年福井	2019年茨城	2020年以降	未回答		
		23	1	1	1	0	1	2		
		79%	3%	3%	3%	0%	3%	7%		
		2. 成年女子シングルハンドをレーザーラジアル級に変更する事について								
		現行のまま	変更すべき	未回答						
		15	29	3						
		32%	62%	6%						
		変更すべきとお答えの方にお伺いします。具体的な時期は？								
		2015年和歌山	2016年岩手	2017年愛媛	2018年福井	2019年茨城	2020年以降	未回答		
		23	1	1	1	0	1	2		
		79%	3%	3%	3%	0%	3%	7%		

# 高校総体および国体少年種目変更のための練習艇(420級)購入資金援助のお願い

JSAFユース制式艇種実行委員会では、高校総体(インターハイ)および国体の少年2人乗り種目を「国際420級」に変更/統一するための資金集めを行っております。

現在、インターハイと国体の種目が異なっていることから、この両大会を目指す高校ヨット部(ないしは都道府県連)は2種目のレース艇を用意しなければならず、大きな経済的負担を強いられています。この両大会の種目を統一することによって、各校ヨット部の経済的負担を軽減しようというのが第一の理由です。

また、高体連に加盟している高校ヨット部に所属することなく、ジュニアやユースなどのクラブ組織をベースに競技活動をしているセーラーも増えています。ところが、同じ世代であるはずの彼らは、それぞれ異なった大会を目指した活動をしていて、同じ土俵で戦う環境がありません。その障壁の一つとなっているのが、インターハイと国体に採用されている種目の問題であり、彼らユース世代が活動する土俵を1つに統一することで、よりコンペティティブな環境を創り出そうというのが第二の理由です。

これら2つの条件を満たす艇種が420級であるというのが私たちの出した結論です。ISAFユース世界選手権の種目に採用されるなど、ユース世代の2人乗り艇種として世界的に最も普及しているクラスであり、高いレベルを目指して活動するセーラーをも満足させる舞台が整っています。また、クラスルールが厳格に定められており、道具(フネやマスト)の善し悪しよりも、セーラーの力量がストレートに問われるクラスであることは、育成段階にあるユース世代のセーラーが取り組むにふさわしいものだと考えます。

しかしながら、この芳しいとは言えない経済状況の下、種目変更に伴う艇の買い換えに耐えられる経済的基盤を持つ高校ヨット部は多くありません。JSAFでは、高体連に加盟する高校ヨット部123校に、練習艇として420級1艇を提供(一部JSAF負担)することで、艇種変更に伴う高校ヨット部の負担を軽減するという方法を採用することにしました。そのためには、概算で6千万円の予算が必要となります。一部はJSAFの資金でまかない、その他、関連団体や企業からの献金を募るとしても、相当分が不足する計算となります。この不足分について、現在のユース世代の先輩に広くご負担いただけないだろうか、というのが今回お願いしている寄付の主旨であります。

ユース世代に自ら活動する環境を整えることはできません。若い彼らが安心して活動できる環境を用意することは、私たち大人の義務です。日本に住むすべてのユース世代のセーラーたちが、日頃の鍛錬の成果を思う存分発揮できる大きな一つの土俵を創り出すために、皆様のご理解とご協力を仰ぎたくお願い申し上げます。

(平成24年8月)

公益財団法人 日本セーリング連盟 会長 河野博文

## 寄付をいただける方へのご案内

### 高校生のための420艇購入にご賛同いただける方々の寄付の方法

JSAFホームページの募金専用サイトに登録をお願いいたします。

<http://www.jsaf.or.jp/>から「高校生に420を!」のバナーをクリック、登録画面に入力をお願いいたします。

その上で、下記口座にお振込みください。

みずほ銀行 渋谷支店 普通 1850753 公益財団法人日本セーリング連盟

[お問合せ]

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館 公益財団法人 日本セーリング連盟 事務局

TEL: 03-3481-2357 FAX: 03-3481-0414 Mail: jimukyoku@jsaf.or.jp

# 再び挑戦することを願って

2010年からかわって来たロンドンパラリンピックキャンペーンが終わりました。監督としてチームをまとめるほか、スポンサー集めやSNSでの広報活動など、海上以外の仕事も自分なりに達成感を持ち終えることができました。今年の夏は私にとっても思い出深いものとなりました。

レポート／水津 岳太郎（ロンドンパラリンピック セーリング競技日本代表チーム監督）



レース当日、海面にむかう日本艇。スキッパー山本真也、メインセール西山克哉、ジブセール麻生恒雄（コーチボートエリアより撮影）

## パラリンピックとは

パラリンピックという言葉の認知度が低く感じることがあり、まず最初に少し説明します。

「パラリンピック」とは、IPC（国際パラリンピック委員会）が主催する障害者を対象にした世界最高峰のスポーツ競技大会です。「パラリンピック」とい

う名称はParallel Olympicからの造語で、「もうひとつのオリンピック」と解釈されています。

現在では、オリンピックとの共同開催が義務づけられていて、大会には日本選手団として参加します。競技会場は国軍が警備し、選手にはオリンピック同様の厳格なドーピング検査が行われます。

## 史上最高の大会

「パラリンピック史上最高の大会」と評された2012ロンドンパラリンピックは、見るものすべてが刺激的でした。

8万人の観客が見守る中で開催された開会式と閉会式。史上最多164カ国・地域から集まった4300人の障害者アスリートたち。そのアスリートたちが競い合う20競技503種目。そして現場を支える7万人を超える地元ボランティア。

発祥の地イギリスで開催された今回のパラリンピックは、オリンピックに負けないほどの歓迎を受け、史上初の観戦チケットの完売、メダル数で中国代表の躍進などパラリンピック新時代の幕開けともいえる大盛況の大会でした。

閉会后、ロンドン市内で行われたTeam GBの凱旋パレードでは、オリンピック・パラリンピックで活躍した英国人選手800人が参加。健常者・障害者

わけ隔てない様子に、大いに盛り上がりを見せていました。

また閉会式でのIPCのLOCOG委員長の「私たちは今後、スポーツをこれまでと同じように考えることはない。身体障害についても、これまでと同じように見ることはない」とのコメントも印象的でした。

そこには偏見や差別などなく、身体的ハンディキャップを乗り越えた勝者に感動する、純粹に世界最高峰の競技大会としてパラリンピックが存在していました。

## 日本の現状

日本の障害者スポーツはまだまた福祉の一環という認識が強く、それは獲得メダル数にも大きく表れます。

メダル獲得トップは中国の231個。2位のイギリスが120個。次回開催国のブラジルが43個、隣国の韓国が27個です。日本は20位にも入らない寂しさで、16個という結果です。

日本でも車いすテニスや陸上競技等でプロ選手も誕生し、障害者の競技スポーツとしての側面が注目され始めています。が、まだまだ福祉的側面が強いようです。これはJOCが文部科学省の管轄、JPCが厚生労働省の管轄という点からも窺い知れます。2020年東京誘致に



開会式に向かう直前のセーリング日本チーム。左から山本選手（麻痺、車いす）、麻生選手（全盲）、西山選手（脊椎損傷）、石津コーチ、水津監督、渡邊総務コーチ（ロンドン選手村にて）



視覚障害の度合いを確認し、選手のクラス分けが行われる（ロンドンにて）



帆走に備えマストを立てる日本チーム

向け、このあたりも整備していかなければならない課題ではないでしょうか。

パラリンピックの競技性が高まるに従い、競技団体や選手からは障害者スポーツに対しスポーツ文化としての理解・支援を求める声が上がっています。

障害者セーリングにも環境整備普及・競技面での課題が多くあります。とくにバリアフリー化されたマリナーが少なく、車いすで簡単にハーバーにアクセスできるといった障害者のセーリング環境が整備されていません。しかしながらそれら乗り越えつつ、私はパラリンピックという大舞台に日本の障害者セーラーたちが再び挑戦できることを願っています。

**日本は3人乗りのソナークラスで出場**

パラリンピックのセーリング会場は、ロンドン本会場から車で4時間ほどのウエイマス&ポートランドでした。選手たちは会場から徒歩5分圏のヨット競技専用の選手村に滞在しました。

選手村の環境はとてよく、日本チームには3階建ての一戸建てが提供されました。5つあるベッドルームはそれぞれがとて広く、車いすでも十分に過ごせるスペースでした。ロンドンの選手村にも滞在しましたが、車いすでの滞在という視点から見ると、こちらはスペースが十分とはいえませんでした。

日本チームは3人乗りのソナークラスで出場しました。

レース結果は14カ国中14位。この結果に対しては「やっぱり」「なあんだ」という意見が大勢を占めると思います。監督としても悔しい結果なのですが、他チームとの障害の程度の差、体格差、セーリングキャリアの差を考慮すると、選手3人はよく頑張ったと思います。

昨年、パラリンピックの出場権を獲得

した後、月に一度、愛知県蒲郡市で強化合宿を行い、パラリンピック使用艇での帆走練習を繰り返しました。それが今の環境下での精一杯の方法でしたが、他国との力の差は埋まりませんでした。

パラリンピックのセーリング競技は、健常者は同乗せず、障害者のみで操船し競います。障害の程度がポイント化され、ソナークラスは乗員3人の障害ポイントの合計が14ポイント以下であることが求められます。

ポイント数が低いほど障害は重度で、参加国中、日本チームがもっとも低ポイントでした。ポイントの高低はレース成績には反映されず、このあたりも日本チームには不利でした。

正直、メダルを狙うならば障害ポイントほもっとも高い14でチーム編成する必要を感じます。障害程度の低い選手でチームを編成するわけですが、しかし、このことだけを追及してしまうと、パラリンピックの意義と反してしまわないかと思えます。パラリンピックもメダル志向が強まるにつれ、弊害を伴う諸問題が現れています。

**支援の拡大を期待**

選手層の厚さも見逃せません。障害者スポーツでも陸上、水泳、バスケットなどは競技人口が多いのですが、セーリングはまだまだです。

ただ障害者セーリング競技では、男女がともに競技することが可能です。そして異なる障害の選手がともに競技することが可能です。この点はパラリンピック種目の中でも珍しく、セーリング競技の魅力・醍醐味のひとつとなっています。

今回も1人乗りの2・4mクラスでは、男子に混じった中で女子選手が金メダルを獲得、またイギリスの3人乗りクラスは男子2人、女子1人というチーム編成でした。



スタートの瞬間（コーチボートエリアより撮影）

日本チームは麻痺車いす、脊椎損傷、視覚障害と違った障害を持つ選手で組みました。

今後は日本でも性別や障害にかかわらず、障害を持つ多くの方々にセーリングを楽しんでいただければと思います。そして道のりは険しいですが、パラリンピック出場権やパラリンピック入賞、メダル獲得を目指せればと思います。

同時に障害者のパラリンピックセーリング競技を応援していただける方々、企業からのご支援の層がますます厚くなることを願ってやみません。

私は今回、大会開始前の準備期間も含めると実に22日間も現地に滞在しましたが、その一日一日、一瞬一瞬に見聞を広めることができ、有意義な時間が過ごせました。これもこのキャンペーンに携わってくれた多くの方々、キャンペーンを支えていただいた多くの方々のおかげと、感謝の気持ちで一杯です。

この場をお借りしまして皆様に御礼申し上げます。ありがとうございます。

# 6人の忘れられない10日間

高校ヨット部支援事業 Touhoku Youth Sailor's Expedition in SF

東日本大震災の際、被災地セーラーに対して海外のセーラーから多くの義捐金、激励など様々な支援が届きました。その中のひとつに、米国カリフォルニア州のシリコンバレー・セーリングクラブ(SVSC)を中心とするセーリング関係団体から、被災地県の高校生セーラーをサンフランシスコへ招待したいという申し出がありました。JSAFはこの申し出を受け、東北セーリング連盟、SVSC関係者と相談し、6月に山形県で開催された東北インターハイの結果をもとに選出した6人の高校生をサンフランシスコに派遣しました。岩間晋一郎、伊藤歩、伊藤宇宙、小堀内大将、久保田唯、佐々木柚香の6人で、全員が岩手県立宮古商業高校の3年生ヨット部員です。8月9日から20日にかけてサンフランシスコを体験した彼らのレポートをご紹介します。



シリコンバレーセーリングクラブの皆さんとクルーザーに乗って、ゴールデンゲートブリッジをくぐる。初めてのクルーザー体験は結構な風の洗礼を受けた  
Photo/Atsushi Tsunoda

## 宮古へみなさんを招きたい

伊藤歩

本当に充実したこの10日間は、私たちにとって一生忘れられない素晴らしい思い出となりました。

宮古からサンフランシスコまで12時間以上の長旅でしたが、初めて見るアメリカに胸は躍り、疲れは吹き飛びました。サンフランシスコ到着の夜、日本領事公邸で歓迎会があり、ホストファミリーのサムに会いまして。同い年ですが、身長は僕よりもはるかに高く、180cmを超えているように見えました。うまくは話せなかったのですがすぐに仲良くなれました。

企業見学では、様々な企業を見学しました。

ケータイゲームで有名な「GREE」や「DeNA」ではプログラム制作、背景やアイテムなどのデザイン現場を近くで見ることができました。「Google」では、とても広い社員食堂でランチになりました。大画面の「Google earth」は大迫力でした。

「日本マイクロソフト」のオフィスは格好よく、どの部屋もデザイン性に富んだものでした。普段から自分の触れているものの多く(ゲーム機のXboxや授業などでもよく使用するワードやエクセル)が「マイクロソフト」のものであることに気がつきました。

様々な企業を見学しましたが、その中でも一番印象に残ったのが、「Dollar Seal」という、本を電子書籍に変えるスキヤニングを代行する会社です。本という大きな物をデータ化することで簡単に持ち運べ、収納スペースを必要としなくなり。100ページを1ドルでスキヤニングしてくれるそうで、実際に作業を見たのですが、紙が朽ちそうな古い書

籍や日本の漫画など様々な本がありました。背表紙を裁断しているところは大迫力でした。

サンフランシスコ市内も見学しました。日本からサンフランシスコまで100日間太平洋を横断したマーマイド号は「本当にこんなもので海を渡るのか？」というくらい小さくてびっくりしました。コンパスなどを用いず、計算で自分の現在位置を知っていたということなのです。すごいと思いました。

また、(EGLIS)という大きなヨットに乗ってセーリングしました。これまでに、4mほどのデインギョットしか乗ったことがなかったので、最初は速さに驚きました。ジュネカーを張るととても綺麗でかつこよく、大人になったらヨットを買ってみんなでセーリングを楽しみたいと思いました。

今回のサンフランシスコ訪問で一番楽しかったことは、やはり現地のセーラーと共にセーリングをしたことです。ホストファミリーのサムはセーリングが上手で、見習いところがたくさんありました。サンフランシスコの荒波や強風など、宮古では体験できない多くのことを学びました。

遠征で一番不安だったのは、言葉が通じずコミュニケーションできないことでしたが、思っていたより言葉が通じ、何より嬉しかったことが一緒にセーリングを楽しむことで、さらにコミュニケーションがとれたことです。みんなと一緒に楽しんだあのセーリングは、本当に最高の思い出となりました。

僕が大人になっても、サムやリッチモンドヨットクラブの皆さん、SVSCの南さんたちとまたセーリングを楽しみたい。僕たちを招待して頂いてありがとうございます。次は、宮古に皆さんを招いてセーリングを楽しみたいと思います。

## セーラー同士で通じるものがある

小堀内大将

今回のサンフランシスコ遠征は初めてのことが多く、とまごうともありませんが、新たな発見があり、とてもためになりました。

企業訪問では、会社の雰囲気や私のイメージとだいぶ違っていたことに驚きました。仕事一筋のビジネスマンが集まり、ピリッとした緊張感のある職場を想像していましたが、実際はそんなこともなく、机の上に玩具が置いてあり、すぐ近くにゲームがあり、それで遊んでいるなどとても自由な雰囲気でした。このようにして新しい発想が生まれるということをお教えられ、縛られることなく自由でいることで新しい発想が生まれるのだと納得しました。

次に市内見学。

驚いたのがお店の種類の多さです。東京と比較しても、サンフランシスコはたくさんの種類の店がありました。また、ケーブルカーに乗りましたが、中は観光客であふれかえっていて、車の外の手すりにつかまって乗っている人もいました。サンフランシスコには急な坂が多く、ケーブルカーの中にも楽しさを感じました。

一番感動を受けたのがマーメイド号です。小さなボートでの太平洋横断は誰にでもできるわけではない、私だったらおそらく途中で断念していると思います。それを成功させたというのはとても素晴らしいことだと思います。

ホストファミリーや現地のセーラーにはお世話になってばかりでした。ホストファミリーは、ほぼ毎日イベントを用意し、私たちを楽しませてくれました。ジャグジーやプールに入り、メキシコ料理を食べに行き、パーティーをし、本当に楽しい毎日でした。

しかし、何といってもヨットの練習が

一番楽しかったです。

初めて大型ヨットにりましたが、かなりヒールするうえにハイクアウトのやり方やウインチなどデインギーと違うところが多くとまごいました。しかし、スピードが出て波を切って走るのはとても爽快でした。

同じヨットでもクラスが違うとまったく別のスポーツみたいだと思いました。ヨットの上では、一人ひとりの役割分担がなされていて、団体スポーツとしての魅力を感じました。

また、デインギーもレーザーや420級、FJ級といった様々な艇種に乗りました。FJ級や420級ではいつものようにクルーとして乗りました。しかし、波が高い上に風が非常に強く、普段練習している宮古湾とはまるで違った海面で、慣れるまでにかなり時間がかかりましたが、いい練習になり、楽しみながらヨットに乗ることができました。シングルハンドは初めての経験で、レーザーに乗るのは少し不安でしたが、実際に乗るとクルーとは違った楽しさがあり、シングルハンドの魅力に惹かれました。

リッチモンドヨットクラブ (RYC) のメンバーはとても明るくフレンドリーで、ヨットに乗っている時は特に楽しそうでした。私たちと同じように本当にヨットが好きなのだと感じました。国が違っていてもヨットをやっている者同士で通じるものがあることをとても嬉しく感じました。

様々な艇種に乗り、まだ知らなかったヨットの魅力を知ることができました。今回のプロジェクトを支えてくださった方々にも感謝しています。今ままで一番輝いた思い出になりました。ありがとうございました。



今回の遠征のためにデザインされたユニフォーム。多くの方からのご支援、ありがとうございました

ホストファミリー、SVSCの皆さん、支援者の方と初の対面でとても緊張しています。在サンフランシスコ日本領事館公邸にて Photo/Yoriko Kate



太平洋横断からちょうど50年後、高校生セーラーが堀江謙一さんのマーメイド号に会うことができた。左から佐々木柚香、伊藤歩、小堀内大将、岩間晋一郎、伊藤宇宙、久保田唯 Photo/Yoriko Kate



リッチモンドヨットクラブで練習の一コマ。トラピース・スピネカーなしのFJ (CFJ)、420で練習。左から伊藤歩、岩間晋一郎 Photo/Atsushi Tunoda



## 強風、高波でのセーリング・クリニック

佐々木柚香

今回、普通なら経験できないようなことをたくさん経験し、楽しい10日間を過ごしました。英語を話せないのが不安でしたが、身振り手振りを知っている単語を使って何とかなりました。ホストファミリーの方も日本語を覚えようと頑張ってくれていました。

一番楽しかったのはクルーザーに乗ったことです。チンしないとは言われたけど、ずつとヒールしていたので怖かった。30ノットくらい吹いたときにティラーを握らせてもらい、重かったけどスリルがあり楽しかったです。

セーリング・クリニックでは、宮古では練習しないような強風、高波で帆走し、いい経験となりました。いつも練習して

いるのと違う船でしたがすぐに慣れ、普段通り練習できました。立ってヨットに乗ったり、ラダーを外したり、バックで走るなど、これまでやったことのない練習も楽しかったです。

現地の人と一緒に乗り、言葉は通じないけど、セーリングを通してコミュニケーションをとれたと思います。シリコンバレーの企業訪問では、有名な企業がどのような事業を行っているのかを学びました。どの企業もオフィスが広く、社員は楽しそうに仕事をしています。特に印象に残っているのは、本を電子化する「Digitize Scan」という企業です。実際に本を裁断するところを見ました。

市内ではケーブルカーに乗りました。坂を上るときが楽しく、ケーブルカー同士がすれ違うときは、結構きりぎりでした。方向を変えるときは人の力で車両を回しているのに驚きました。

また、太平洋単独横断の堀江謙一さんのマーメイド号を見ました。見学したのは8月12日でしたが、偶然にも、ちょうど50年前の8月12日に堀江さんが一人で太平洋を横断しサンフランシスコに着いたのでした。よくこんな小さな船でサンフランシスコまで来れたなと想い、尊敬しました。私だったら、とても無理だと思います。

最終日、RYCから名門入りのパーティーと旗をもらいました。その時、「みんなはRYCの一員だよ」と言われとても嬉しかった。アメリカに行き、たくさんの方と出会いました。みんなやさしくフレンドリーでホストファミリーの方も家族のように接してくれ、不安もすぐに吹き飛びました。

貴重な経験ができ、一生の思い出になりました。次は、英語を上達させてからまた行きたいです。今回は本当にありがとうございました。



初めてクルーザーに乗る子どもたちは楽しそうだった

2012年宮城復興マリンスポーツフェスティバルin七ヶ浜

# 被災地に 笑顔があふれた2日間

レポート／相澤孝司（宮城県セーリング連盟）

昨年の大震災で私たちはほとんどのものを失いましたが、徐々に復興を果たしつつあります。宮城外洋帆走協会をはじめとする皆様のご尽力、全国の仲間たちのご支援のおかげです。ここ七ヶ浜（花淵浜・吉田浜）が残ったからこそこのこと

です。地元の皆さんは津波に襲われ、私たちとは比較にならないくらい大きなものを失いました。それぞれが失ったものの大きさに差はありますが、同じ地域・海面で生活、活動する者同士ということで地元の皆さん、ヨット関係者が一緒に楽しく過ごせるイベントを企画しました。日本財団補助事業「2012年宮城復興マリンスポーツフェスティバルin七ヶ浜」です。9月15日、16日、宮城県七ヶ浜で開催しました。

## ●国際モス級のデモンストレーション

宮城の海で初めて浮かんだモスですが、ハーバー内ですでに飛ぶように走り、見ていた人はそのスピードに驚きの声を上げていました。沖の海面で交代しながら試乗を行いました。なかなか難しくそうです。後藤浩紀さんが乗るとゴムボートが追いつけなくらいのスピードになってしまします。なんでも31・4ノットを記録しているようですが、果たしてどん

な速さなのやら。試乗に参加した大学生が、興奮冷めやらぬ表情で戻ってきたのが印象的でした。

## ●前夜祭（屋台無料開放）

ヨット関係者によるピラ配布と並行して、地区長さんを通じ花淵地区全戸（大半の方が仮設住宅住まい）にピラを入れていただいたおかげで、地元から約70名の方に来ていただきました。ヨット関係者及びサポーターを入れるとおよそ150名の方々が楽しい時間を共有しました。

夕闇が迫るころバンド演奏が始まりましたが、軽快なテンポに皆さん体を揺らせて楽しんでいました。定刻で終了するかと思いきやアンコールの音が出てなかなか終わらせてもらえず、時間オーバーとなりながらも皆さん楽しんでいました。最後はプレイヤーとリスナーが一体となって、どこかのジャズフェスティバルのような盛り上がりとなりました。

出演バンドのウォーカーの方が松島ジュニアヨットクラブの一期生で、クラブを立ち上げたメンバーと当時を懐かしんでいる姿がありました。また参加者の間でもあちこちで久しぶりの再会に話はずんでいました。

バンド演奏終了後の帰り際、地元から参加の年配の方にお礼を言われました。

「今日はとても楽しかった、若い人がこんなに集まったのは久しぶりのことだ。バンドも良かった。ありがとう」

地元の方の中には今なお仮設住宅にお住まいの方もいらっしゃいますが、多少なりとも希望を、少なくとも息抜きの場を提供できたのではないかと感銘しました。

## ●デインギールレース

「12時スタート。参加申し込みは海上本部に口頭で伝えてください。結果は後日郵送します。商品や賞状は一切なく、得られるのは名誉のみ」——こんな型破りなレースですが、36艇が出場しました。

艇種はOP、シーホッパー、レーザ、FJ、テザ、S.S、スナイプ、470と様々。遠くからは約10km離れた松島からFJとOPがレスキュー艇に伴走されて帆走で参加。2レースを行い、フィニッシュ後またそれぞれのホームポートに帰っていききました。4〜5mの安定した風のもと、各艇とも一所懸命セーリングを楽しんでいました。レース内容は国際モスが圧倒的な走りスピードを見せてくれました。

## ●クルーザー体験帆走

デインギールレースを観戦しながらクルーザーで帆走を体験しようとの試みで

した。関係者が企画書を持参して地元の中学を訪問したことから、40名ほどの参加がありました。クルーザー8艇に分乗し、風が良かったこともありセールを上げて観戦しました。

しかしいつの間にかレースコースに入り込み、レース艇となって参加してしました。OPから42kg大型艇までが狭い海面をひしめくように帆走する様は圧巻でした。みんなが笑顔の楽しいレースでした。

## ●終わってみて

当初これほど多くの方の参加があると思っていませんでした。みんなが誰もが集まれる場所、機会を望んでいることを強く感じました。

ヨット関係者だけではなく地元七ヶ浜の方々との連携が重要であり、人と人とのつながりが大事であることを改めて思いました。運営している私たちが力をもらった今回のイベント、また来年、やってみたいと考えています。

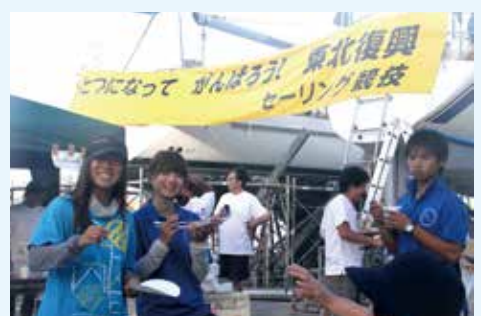
最後にご協力いただいた宮城外洋帆走協会（有）SAFEAST、（有）ファクトリーマリンの方々に誌面をお借りし、お礼を申し上げます。



みんなを驚かせた後藤選手のモス級セーリング



多くの関係者が協力してセーリング体験は終了した



集まったセーラーも笑顔



**SPICE  
&B  
HERB**

トレンドの濃厚な味わいを追い求めた

『濃いシリーズ』にハヤシが新登場!

# 濃いシチュー

リフレッシュ

2種類のブイヨンの旨みが濃いミルク感を  
一層引き立てた、濃厚クリームシチュー。



濃いシチュー クリーム

濃縮赤ワインペーストの豊かな甘酸っぱさと  
デミグラスソースの奥深いコクと旨み。



濃いシチュー ビーフ

**New**

洋食屋さんで味わうような  
濃厚でデミグラスソースの奥深い味わい。



濃いハヤシ

Web  
限定

大切な人と恋ひととき

プレゼント  
キャンペーン

ベルギー王室御用達ブランド  
ガレー フォンダンショコラ



5個  
入り

1口で応募 | 1,000名様

選べるカタログ  
スーパーギフトチェック シュプレ



全国の日帰り温泉や有名レスト  
ランでのランチなど、お好きな  
ギフトをお選びいただけます。

2口で応募 | 500名様

抽選で当る!  
1,500名様

応募期間  
2012年8月13日(月)~  
2012年12月27日(木)  
17:00まで

詳しくは  
パッケージの内面を  
ご覧下さい

応募方法:PCまたは携帯電話からキャンペーンページにアクセスして応募

エスビー食品株式会社



レース海面は、マリーナベイサンズ(右手の建物)の前、Marina Bay。写真はタイチーム

# Asia Pacific Students Cup 2012 Match Race アジア全体のレベルアップを実感

何が楽しいって、同世代の仲間とワクワクすることしているこの瞬間です。

レポート/佐藤洋一 (Yoshida Sailing Team)、Special Thanks to Andrew Aaron TAM

今回の遠征の様子を動画で Youtube にアップしました。ぜひ、ご覧ください。  
<http://www.youtube.com/watch?v=YRRaf-rzS4Q&sns=em>  
また、Yoshida Sailing Team ではメンバーを募集しています。興味ある方はメールにてご連絡下さい。  
sailors.2030@gmail.com (佐藤洋一)



Yoshida Sailing Team。レース艇はSB20。キールバルブが330kgある、ディンギーに近いキールボートだった

## 学生セーラーでチームを編成

Yoshida Sailing Team は、9月19日から22日までシンガポールで行われた Asia Pacific Students Cup 2012 Match Race に参戦しました。

この大会はアジア周辺諸国の学生セーラーを対象とし、今回は7カ国(シンガポール、タイ、中国、オーストラリア、日本、アイルランド、ノルウェー)、11艇が参戦した大会となりました。

2012年3月の大学対抗マッチ優勝で獲得した出場権での参加であり、事実上の日本代表。そのため意気込みは十分、優勝とグッドマナーを胸に誓い大会に臨みました。

以前のウラジオストクやオーストラリアへの遠征の時は、若手社会人クルーを中心にチームを組んでいたのですが、今回は全員学生セーラーでのチーム編成となりました。

関西大学の吉田工作(ヘルムス)、三重大学の佐藤洋一(トリマー)、神戸大学の有馬忠嗣(バウ)、大阪市立大学の村上雅典(ミドル)の4名で、レース艇「レーザー SB20」に乗り込みました。

17日に現地入りし、マリーナベイサンズをベースにプレスタートやスピニング関係などクルーワークの最終調整を行いました。東南アジア経済の中心であることを象徴する高層ビル群を背景に、世界中から集まる観光客の視線を浴びながらセーリングするということで、気分上々。艇はややディンギーに近い船型でしたが、徐々に慣れていきました。

## 惜しくも準決勝で敗退

そして迎えた予選はラウンドロビン(総当たり)。順調に勝ち進むものの、地元シンガポールチームに不覚を取り、5勝1敗で1日目を終えました。

風は昼までは安定せず、昼近くから南

東のシブリースが3~5mほど吹きます。しかし遺憾千万、ビルに囲まれているため20度から40度の幅で1分おきにシフトし、風の読みが難しいレースとなりました。

夜は宿に戻りビール片手に作戦会議。翌日の作戦を練り、床に就きました。

予選4位以上が準決勝に進めるので、できれば余裕を持って勝ち進みたいものの、やはり地元シンガポール陣が立ち上がり、最終的に7勝3敗のギリギリ4位で準決勝へ進出。

その後もスタートでリードを奪うものの、風のシフトの読みや狭い海面での駆け引きなど、自分たちのセーリングをさせてもらえない状況が続きました。

準決勝では優勝チームである Russell Taylor 率いるシンガポールチームと対戦。2マッチ先取のフライトで1対1まで持ち込むものの、最後のマッチは2艇身ほどの差で敗退。一時はベナルティを取りリードも奪っていた3マッチ目だけに、風の読み違いや判断、動作ミスが本当に悔やまれるレースとなりました。

遠征中は宿舎で各国のセーラーとドミトリイ(相部屋)で時を共にし、またシンガポールの学生らと食事やバーへ行くなどして交流を深め、国境という垣根があってもセーリングという共通点を持つことでそれを乗り越え、手を繋ぐことができることを実感しました。

また、大会期間中にF1シンガポールグランプリが行われた関係でフェラーリ所属のマッサ、そしてプロテニスプレーヤーの錦織圭と遭遇するなど、世界の中にいることを改めて実感、興奮を感じました。

## 日本のセーリング界を背負っていききたい

今回の遠征を通じてセーリング環境が整うとともにアジア全体のレベルが上



準決勝でのスタートの様子。対 Singapore / Calvin Lim 戦



優勝したシンガポールの Russel Kan チーム



開会式ではSMU(Singapore Management University)の学生らのホスピタリティに歓待された。左から村上雅典、有馬忠嗣、佐藤洋一、吉田工作

がっていることを実感しました。またなにより、工作や有馬、雅典との同世代の繋がりにより強くすることができ、将来自分たちが日本のセーリング界を背負っていくのだと強く認識することができました。

我々がこうしたチャンスを掴めたのも、皆様のご支援、ご声援あつてのもの。急で、無理なお願いをしたにもかかわらず快くご支援いただいた、(ワイレア)の濱口オーナーをはじめとするKYCのオーナーの方々、須磨YCのオーナーの方々、中部のオーナーの方々、関東のオーナーの方々、普段お世話になっている方々にお礼申し上げます。改めて、本当にありがとうございます。

最後に、閉会式でSMUの校長の言葉で締めくくらせていただきます。チームごとにテーブルを囲んでいる中でスピーチでした。「See your table. It's the best time of your life!」

今後も我々若い世代も皆様と一緒にセーリング界を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくご鞭撻のほどお願い致します。

Full Speed Ahead

## Carrying dreams, Carrying the future

子供たちの未来が輝かしいものであって欲しい。そのために私たちは運び続けます。  
ヒトやモノを運ぶことが、夢を運ぶことにつながると信じて。船だからこそできること。  
商船三井だからこそ、できることがあります。 [www.mol.co.jp](http://www.mol.co.jp)

**MOL** 商船三井

# CATCH THE WIND

YAMAHA  
SAILING CRUISER  
&  
DINGHY SERIES



●お問い合わせは.....  
○ディンギーヨット/ オクムラボート 販売株式会社 〒671-0111 兵庫県姫路市の形町の形2013 tel.0792-54-5630 <http://www.okumuraboat.co.jp>  
○クルザーヨット/ ニュージャパンヨット株式会社 〒421-0502 静岡県牧之原市白井7-9 tel.0548-54-0221 <http://www.njy.co.jp>

# 海を愛するタモリの 日本一楽しいヨットレース

「西の阿波踊りレース」に対し「東のタモリカップ」と言われる日本屈指のお祭りレース、タモリカップは第4回目を迎えました。今年は8月19日に開催され、過去最高の81艇、総勢1000名以上がエントリー。今年のテーマは「ヨットとサルサの大カーニバル!」。

レポート／松坂嘉子（スーパー茶々丸+、タモリカップ事務局）



史上最強のサルサバンド「オルケスタ・デ・ラ・ルス」がゲスト出演したパーティ

## 【参加艇】

今年は29のマリーナ、ヨットクラブから参加艇が結集。クルージング艇からスーパーレース艇、そのサイズは18ft から50ftと幅広い81艇が参加しました。これらが同時にスタートし、同じ海面でレースをする光景はタモリカップならではです。

遠来賞は、東の千葉県船橋ポートパーク<MILKYWAY II> (Y26S)、西の三重県津ヨットハーバー<Wai Wai II> (FIRST310) が受賞。それぞれ片道約30時間を激走して参戦しました。

ジャパンカップの帰りに、「楽しそうだから」と参加してくれた<カラス> (シーボニア・KING40)、16年ぶりのレース参戦になるという<ツバメ> (重須・X-99)、地元の江之浦の方々がこのレースのためヨットを学び結成したチームなど、本当に様々なチームが参加してくれました。

## 【クラス分け】

遊び心はクラス分けにも反映され、テレビ番組「笑っていいとも」にちなんだ「いいともクラス」、タモリさんの有名なイグアナの物まね芸にちなんだ「イグアナクラス」に大別されます。タモリカップはなるべく専門用語を使わないようにしています。そこで、大会主旨を正しく理解している船（スピンなし）、まあまあ普通に走れそうな船（スピンなし）、ちょっとだけ速そうな船、などといった言葉で表現し、タモリカップレーティング委員会によって「分かりやすく」「おもしろく」かつ「真面目」にクラスは決められています。

## 【海上パレード】

タモリカップ名物は参加艇による海上パレード。江之浦港の岸壁沿いのステージにいるタモリさん、内田恭子さん、地元の方々に向けて、参加艇が見事一列になっての行進！ ステージ前来到ると、各艇ベストパフォーマンス賞を狙い、試行錯誤のパフォーマンスを披露



様々なタイプが参加するタモリカップです



し大爆笑を巻き起こしていました。「レースよりもこのパフォーマンスに賭けています!」、「マストが壊れてレース参加できないですが、パレードは参

加してもいいですか?!」といったチームがいるほど。

本部艇はスタートラインを打たねばならないのに、どうしても各艇のパフォーマンスを見たいがために、ギリギリまでパレードの様子を見学していました。

今年、女子高生のコスプレで見事に海上パフォーマンス賞を獲得したのは、なんとスーパーレース艇<カラス>でした! レースで勝つよりも難しいハズなのに……

## 【レースコース】

タモリカップの魅力の1つは風光明媚な全長約10マイルの絶景コース。沼津御用邸沖をスタートし、約4マイル先の大瀬崎沖のマークを周り、フィニッシュは淡島沖。スタートとフィニッシュ地点が異なるV字コースで、雄大な富士山を眺めながら、セーリングを満喫できます。駿河湾でいつもレースをしている私も、いつも変わる富士山の姿はつついレース中に写真を撮りたくてしまうほどにきれいです。

フィニッシュラインでは、このレースのために結成されたプラスユニット「キャプテンT with マリンセイラーズ」の生演奏とともに、タモリさんが手を振ってフィニッシュ艇を出迎えてくれました。生演奏に迎えられフィニッシュするヨットレース。とっても贅沢で、順位は関係なく、いい気分でフィニッシュラインを切ることができました。

## 【表彰パーティ】

レース後の表彰パーティには、史上最強のサルサバンド「オルケスタ・デ・ラ・ルス」がゲストで登場し、灼熱のサルサミュージックに会場中がノリノリでした。

さらに、すっかりタモリカップお馴染みの司会者となったヨットマンのアイドル内田恭子さんに加え、ニッポン放送から垣花正アナウンサーが参戦し、会場を笑いの渦に巻き込んでくれました。

表彰パーティの大バーベキューでは、前日から仕込んだ、正真正銘タモリさんの手作りのタレを始め、「米久」さんのお肉×「ロゴス」さんのBBQコンロ、「吉野家」さんの牛丼、「ナボリの窯」さんのピザ、「はなまる」さんのうどんや富士宮焼きそばなどが振る舞われました。

## 【最後に】

これほどまで盛大に無事に開催することができたのは、すべて、海とヨット、また駿河湾の地元を愛する多くの方々や関係者の皆様のご協力、ご参加のお陰です。本当にありがとうございます。これからも、駿河湾そして日本の海を盛り上げるためにも、タモリカップ運営メンバーは日本一楽しいヨットレースを目指します。今後ともご支援のほどよろしくお祈りします。「来年タモリカップ来てくれるかな?!」





岐阜国体で女子セーラーに囲まれた中川副会長

## JSAF 中川千鶴子副会長インタビュー

# 女性として初の副会長に就任

2012年度にJSAF 役員の一部が変わり、中川千鶴子さんが女性として初のJSAF 副会長に就任。全日本学生女子ヨット選手権大会を21年にわたり手伝って学生女子ヨットの普及に努め、JSAF にレディース委員会を立ち上げ、国体ではチャイルドルームを設置するなどの活動がある。副会長としての抱負を聞いた。(編集部)

——JSAF 80年の歴史の中で、女性の副会長の誕生は初めてです。

「私でよろしいのでしょうか」というのが正直な気持ちです。過去には、もっと立派な、能力の高い女性がたくさんいらっしゃったのに、やはり時代だったんでしょいか、それらの方々に活躍していただくチャンスがなかった。その分、責任の重さを痛感します。

——2000年にJSAF レディース委員会を立ち上げられたのは中川さんです。

当時の会長をはじめ多くの方々にご協力をいただき、レディース委員会が立ち上がりました。でも、「女だけで集まって何をやるのか?」何もしなかったらすぐにつぶれるぞ」と言われたりもしました。実は副委員長には男性もいたんですけれどね(笑)。それでも、「スローガンばかり唱えて実績を上げねば、セーリング界における女性の進出はかえって遅れる」と思い、具体的な行動として国体のチャイルドルームの設置に力を入れました。

——チャイルドルームは2002年の高知国体から正式に設置されました。

1998年の神奈川国体は会場が江ノ島と葉山に分かれ、葉山会場では女子



中川千鶴子(なががわちづこ) / 学習院大学文学部フランス文学科卒。同大学輔仁会ヨット部出身。JSAF 理事、JSAF レディース委員会委員長、全日本学生女子ヨット選手権大会副会長、日本470級協会副会長を経て現職に。(写真/濱谷幸江)

種目が行われました。葉山に集まった中には小さな子どもを持つ選手が多かった。自分の子どもを抱っこしながら表彰台に上った選手の様子を目の当たりにし、「子連れで参加しても、安心してレースができる環境があれば、女性の競技人口がもっと増える」と考えたのです。しかし、手間や予算がかかり、しかも前例がないことですから、すぐには理解してもらえませんでした。JSAF

理事会にレディース委員会として「国体に於けるチャイルドルーム設置」という要望書を提出し、承認され、2001年の高知国体リハール大会でトライアルとして始め、2002年によりやく設置が叶いました。「国体初」ということでメディアにも取り上げられ、予想以上の反響がありました。——JOCからも注目されたそうですね。JOC女性スポーツ専門委員会に

就任し、2010年の会議でJSAF 国体チャイルドルームについて紹介したところ、いくつかの質問を受けるなど大きな関心を得ました。バレーボールの荒木田裕子さんと柔道の田辺陽子さんなども、それぞれの分野でチャイルドルームを設置したいという発言をされました。どのスポーツでも、女性が結婚後、子育てをしながらスポーツを続けていく方法を探るのは共通の課題なのです。

——毎年、葉山で開催しているエンジョイセーリングデイも10回を超えました。セーリングの普及という視点から、ヨットに馴染みのない一般の方を募って行う体験乗船会です。クルーザー・オーナーやJ24の講師の方々の協力を仰ぎ、船と人員をご提供いただき、毎年80人前後の方々にヨットを体験してもらっています。リピーターとなって毎年来る方もいらっしゃるし、クルーとしてスカウトされ貴重なレース要員となった方もいらっしゃると思います。これからも続けていきたいと思っています。これもレディース委員会が主催しています。

——さて、JSAF 副会長としてミッションは何でしょう。ISAF ウィメンズコミッティは女

性委員の積極的な登用を掲げ、その数値目標を達成したと聞きます。JOCでも意思決定機関や組織の重要なポジションに女性が就任することを目標としています。かたやJSAF は理事、評議員を合わせても女性の数はわずかです。女性の数が増えればその視点が反映され、多様性のある組織として、JSAF はさらに活性化したいと思います。

——そこで、まず女性のセーリング人口を増やし、増やすだけではなくその質を高め、そのうえでJSAF の主要なメンバーとして活躍してくれる人を育てたいのです。

たとえば語学に堪能な女性セーラー並びに委員(役員)を発掘し、アジアで行われるセーリングの国際会議に派遣し、日本の様子を伝えたい。それとともに日本の女性セーラーの国際化を推進し、その成果をJSAF に還元してもらいたい。そのようにして国際化した女性セーラーがJSAF に増え、そして2020年のオリンピックが東京に決まったとしたら、若洲のオリンピック会場にチャイルドルームを設置するというのがいいかでしょうか。とても素敵じゃありません。

# TOKYO NEWS

THANKS!  
50  
YEARS



TVBros. TV Taro B.L.T. BEAUTIFUL lady TELEVISION ベスト-of TVガイド 月刊 TVガイド DIGITAL TV GUIDE

スカパー!TVガイド スカパー!TVガイド BS+CS TOKYO NEWS MOOK VISION VISION GC Good Come

since 1998 インターネット TVガイド 新聞ラジオ・テレビ欄配信

株式会社 東京ニュース通信社

〒104-8415 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル TEL.03(6367)8000(代表) www.tokyonews.co.jp



ミズノは2020年の東京招致活動を  
応援しています。



うまいぞ、  
長尾くん!

名前で  
呼ばれ  
ちゃった…。  
(ドキドキ)



会えるのは、  
室伏選手だけじゃない。

21競技、300名以上の有名アスリートが  
講師に登録。ミズノのスポーツ振興イベント  
「ミズノビクトリークリニック」。

キミも、有名選手に会えるかも! 「ミズノビクトリー  
クリニック」は、オリンピックや世界大会など…  
さまざまな舞台で活躍したミズノの契約選手や  
社員選手を講師に招き、実技の指導や講習、サイン  
会やトークショーなど行うイベントです。講師に登録  
している選手は21競技300名以上。スポーツは  
もっと好きになると、きっと、うまくなるよ。



スポーツの楽しさを伝え、広めています。

開催レポートはこちらから… Victory Clinic <http://www.mizuno.co.jp/victoryclinic/mizuno.jp> ☎0120-320-799



## 国体ウインドサーフィン級 競技人口拡大を目的としたネクストステージへ!

### 時代の要請に応える規則改正

1993年、ウインドサーフィンのエキップメントが著しく進化する中、日本人の体格や対応風速の広さや安全性を鑑み「ボード長約380cm、セールサイズ7.5平方m以下」という規格を導き出し、国体ウインドサーフィン級は1994年から国体セーリング競技としてスタートしました。

その規格は当時の実業団連盟（レースボード）と学生連盟（IMCO）の使用艇とほぼ合致し、幅広い層に受け入れられて爆発的に流行し、世界的なスタンダードのレース規格となりました。

しかしウインドサーフィンの進化は止まりません。

昨今、ボードは短くコンパクトに、セールは軽く高効率化し、老若男女、誰もが取り扱えるユーザーフレンドリーなデザインに洗練されてきました。

今回の規則改正はその進化に合わせて、現在のウインドサーフィン競技の主流である「ハイブリッドボード（長さが短く、幅が広い）」に変更し、参加選手が公平に戦えるようになりました。大きな変更箇所は右記の通りです。



写真2：ニールブライ RS:ONE

<変更1>4. 建造規則  
(現) 4.15 全長は3800mm以内……



(新) 4.15 全長は3100mm以内……

<変更2>5. セール  
(現) 5.1……計測された7.5平方m以下の……



(新) 5.1……計測された8.0平方m以下の……

### 主な企画対応エキップメントの紹介

<BIC テクノ2390D(全長293cm 幅79cm)>

日本学生ボードセーリング連盟がワンデザインで使用しています。ユースオリンピック艇でもあり、コストパフォーマンスに優れ、ジュニアからシニアまで愛好者が多いレース艇です(写真1)。



写真1：  
BIC テクノ2390D

<ニールブライド RS:ONE(全長300cm 幅79.5cm)>

オリンピック艇RS:Xのニールブライドによるレース艇です。コンプリートされるセールやマストのクオリティは高く、ポリウレタンボードデザインが微風の上りの良さをイメージさせます(写真2)。

<スターボード ファントム295(全長294cm 幅72.5cm)>

人気ウインドサーフィンブランドのスターボードが放つレース艇です。特徴的なウイング形状のスターとスマートなシルエットにより、順風時の走りの良さが想像できます(写真3)。

<ZERO SAIL(セール面積:8.0㎡)>  
10年以上もの間、国体ウインドサーフィン級を



写真3：  
スターボードファントム295

支えてきた人気セールブランドが放つ国体新規格にも対応するハイブリッドボード用レースセール。チューニングにより幅広い風域で高い性能を発揮(写真4)。

### 使用ボードの変更による期待

今回の規則改正による一番のポイントは、体型やテクニックに合わせてエキップメントをセレクトし、誰もが同じ土俵で戦える公平さを追求したことです。また1セットで競技に参加できるコストパフォーマンスの高さは、学生やユース層などの幅広い愛好者層を取り込む事が可能になります。

新しい国体ウインドサーフィン級は、2013年の東京大会よりネクストステージへ踏み出します!

WFJではこの改正が今後の競技人口全体の拡大の起爆剤となると確信しています。どうぞご期待ください。



写真4：ZERO SAIL

### 速報

## TECHNO293 U15 世界選手権で、池田選手が殊勲の5位入賞!

2012年の大会はオランダ、メデンブリック(8月11日～15日)で開催され、過去最多の339艇がエントリー。

会場には地元オランダのRS:X級金メダリストであるドリアンが、獲得したばかりのメダルを持って駆けつけるなど、文字通り世界最大級の規模と盛り上がりを見せた大会となった。

日本からは3クラスに男女計5人が参加し、池田選手はU15クラスで5位を獲得し、入賞を果たした。2014年に中国南京で開催されるユースオリンピックでの活躍が早くも期待される。

また、U17クラスで出場した川崎、由里の2

選手が昨年果たせなかったゴールドフリートへの進出を果たすなど、ウインド第2世代の子もたちが頼もしく、着実な進歩を見つけた。またOpenクラスでは伊勢田が女子クラスで2連覇、福村が4位と、こちらも大健闘した。

### 日本選手総合成績

U15 参加艇数 88艇

池田健星(kaya) 5位

U17 参加艇数 130艇

川崎翼(バイレーツハーバー) 42位

由里亮太(バイレーツハーバー) 63位

### オープンクラス 参加艇数 19艇

伊勢田愛(バイレーツハーバー) 4位(女子クラス1位)  
福村拓也(日立) 5位



大活躍の日本選手団。右から福村、伊勢田、川崎、由里、池田

# BOARD

## ノティスボード

### 中日韓親善レガッタ出場レポート

9月6日から9日にかけて中国・山東省・日照市で開催された「中国・日本・韓国キールボート親善レガッタ」に月光チームのクルーとして出場した。JSAF キールボート強化委員会としてこのレガッタへ日本チームの参加を推進した経緯もあり、同委員会メンバーとしてレガッタの様子をレポートしたい。

レポート／中山遼平（JSAF キールボート強化委員会）



ターコイズチーム、コンコードチーム、月光チームの面々と日本から参加の柴沼ジュリー

#### ■懸念された問題もなし

今年で5回目となる本レガッタは、中国ヨット協会と日照市が主催し、中日韓3国の代表として招待されたセーリングチームがワンデザインボートで競う。日本、韓国から3チームずつ、中国から4チームの計10チームでレースは行われた。JSAFは代表チームを公募し、月光、コンコード、ターコイズの3チームが参加した。

優勝賞金1万USドルに加え2、3位にも賞金が用意されており、中国や韓国からはオリンピック選手や470級国内チャンピオン、プロセーラーなどが出場し、ハイレベルなレースとなることは必至だった。

ちなみに青島国際空港までは東京から3時間ほど。空港からは主催者が準備したシャトルバスで行き、会場となる日照マリーナまで2時間ほどである。車の運転は少々荒いが、日本からのアクセスはとても良い。北京オリンピックのセーリング競技が行われた青島市へも近い。日照の町には開発中の高層ビルが多く、スーパーやレストランは充実しており、タクシーで買い出し可能だ。

現地入りしてまず驚いたのはマリーナ施設の規模である。マリーナは東シナ海に面した湾内にあり、棧橋には大型のプレジャーボートやカタマランヨット、今回使用されたFE26（ファースト26）などが並んでいる。われわれが宿泊したホテルはマリーナの敷地内にあり、艇庫や大会本部とも隣接している。

今回、宿泊や食事は主催者がすべて準備してくれ、航空券とエントリーフィー（各人100USドル）以外はかからなかった。

食事はすべて中華料理（山東料理？）で味、量とも申し分ないが、最終日には和食が恋しくなる。英語が通じるスタッフは少ないが、各チームに中国語通訳の大学生

ボランティアがついてくれるので心配はなかった。懸念された日中間関係絡みの問題も（おそらく主催者の配慮もあり）見られなかった。

#### ■日本人セーラーに刺激を与えていた

さて肝心のレースはというと、初日はボートの整備と練習に明け暮れたが、月光チームのボートは一番古いこともあり、走り合わせ、フィーリングとも満足できないまま第1レースを迎えてしまった。

案の定、強風の第1レースこそ7位だったが、微風戦となった第2レース以降はボートスピードで勝負にならず、DNFや最下位を連発してしまい最終的に8位。チャーターボートを乗りこなす力が不足していたと認めざるを得ない結果であった。一方、他の日本チームは健闘し、ターコイズチームが韓国プロチームと最終レースまでもつれ惜しくも2位、コンコードチームも4位に入った。

レース海面はマリーナから機走で5分ほどの距離で、噂に聞いていたような藻や汚染は見られなかったが、潮

の流れがきつく、微風レースでは重要なファクターとなっていた。レース運営には北京オリンピック時のスタッフがいるため日本国内のレースと同じくスムーズな運営であった。

歓送迎では中国、韓国のセーラーと一緒に酒盛りするなど大いに交流でき、一緒にアジアのセーリング界を盛り上げようと話した。中国、韓国とも近年セーリングのレベルは格段に向上していて、こういった交流が日本のセーラー1人ひとりに刺激を与えていたと思う。またゲストとして中国ヨット協会の幹部や日照市体育局長、ロンドンオリンピック・レーザーラジアル級メダリストなどが来ていた。中国のセーリング競技のレベルアップには官民一体の取り組みが根底にあることを実感した。

この親善レガッタは来年、再来年も日照市での開催が決まっています。2015年以降は3国の持ち回り開催が提案されている。手軽に参加でき楽しく盛り上がり、なおかつ勉強になる。ぜひ他の日本チームにもオススメのレガッタである。



下マークのシーン



日照マリーナの棧橋

### ルール・ブック 2013-2016 が発行されました

「セーリング競技規則 2013-2016」、「セーリング装備規則 2013-2016」、「日本セーリング連盟規程」が含まれているルール・ブック 2013-2016 が発行されました。これらの規則は平成 25 年1月1日から適用されます。

定価 3,500 円、JSAF 会員価格 2,800 円。  
12 月から JSAF 加盟団体・特別加盟団体にて販売します。

セーリング競技規則 (RRS) は 4 年に 1 回、オリンピックの翌年に改定されます。今回は前回と比べてインバットの大きな変更はありませんが、やはり多くの箇所で見替わります。

もっとも際立って戦術に影響を与える点は、定義「マークルーム」と規則 42.3「例外」の「バテンが裏返っている場合」

にあります。マークルームの意味が変更され、また、ある条件を守れば裏返ったバテンが正しく戻るまでリャンプが可能となり、実情に合わせた改定であるとも言えます。

他にも、定義「フィニッシュ」や定義「避けている」、規則 20 の変更はセーラーの戦術を変えるでしょう。

一方で、基本原則に「環境責任」が追加され、規則 55「ゴミ処理」が追加され、競技者は環境への意識も持たなければいけません。また付則 B、D、E がほぼ全面改訂され、付則 F「カイトボード」が追加されました。付則 L では「U 旗」が規則 30.3「黒色旗」の代替として使用できるようになっています。

セーラーの疑問に答える「理解しやすい」RRS とするために、日本語訳を変更している箇所も多くあります。新たな戦術が展開される1月1日以降のレースに備えてください。



# NOTICE

## NYYC インビテーショナルカップ、代表チーム選考レース開催

ニューヨークヨットクラブ(NYYC)が主催するインビテーショナルカップは、同クラブが世界中から有数のヨットクラブを招待する格式の高いレース。ワンデザイン艇 Swan42 が使用される。レース海域は米国東海岸ニューポート、1983年までアメリカスカップが戦われた、伝統あるヨットレースの聖地だ。

日本の JSAF チームは第1回大会(2009年)3位、第2回(2011年)6位と健闘しており、第3回となる2013年大会も JSAF に招待状が届いた。

JSAF はこの機を捉え、外洋レースのナショナルチームを編成して同レースに挑むことを考えたが、大会まで1年を切ったこのタイミングで新たなチームを立ち上げることは時間的に無理と判断。そこで、日本国内で活躍するチームの中から JSAF 代表チームを選出することとした。

レース本番までのタイムスケジュールは下記のようにしている。

2012年10月

JSAF メンバーへ告知、エントリー受け付け開始

2012年12月末

代表チーム選考レースのエントリー締切り

2013年2月

代表チーム選考レース開催

(2チーム以上エントリーがあった場合)

2013年3月

代表チーム練習開始

2013年3月～8月

選抜チームでの国内レース参戦

2013年9月

インビテーショナルカップ

【選考基準】

- スキッパー及びクルー全員が JSAF メンバーであり、出場資格のアマチュア規定に準ずること。
- 選考レースのヘルムスマンは、インビテーショナルカップ本戦のヘルムスマンが行なうこと。

●レース艇はチャーター艇で乗員は11名。そのうち1名はチャーター艇オーナー側のクルーが乗り込むが、残る10名のうち2名は10代後半から20代のセーラーとする。

●大会出場に関するすべての費用(概算600万円)を負担できるチームとする。

【選考方法(予定)】

●チーム単位でエントリーし、エントリーが2チーム



2011年インビテーショナルカップの1シーン (photo by Junichi Hirai)

以上の場合は選考レースを行う。

●選考レースは同一艇ボートで6～10レース行なう。状況によっては海外でのレガッタを選考レースとする。

●選考レースのエントリーフィーは高めに設定し、余剰金は JSAF の活動へ募金する。

●大会に出場を希望する個人の乗艇希望者(若手セーラーが望ましい)は、JSAF が選考した上、参加予定チームへ斡旋をする。

【エントリー締切り日】

2012年12月21日までに、申込書及び必要書類を添えて、JSAF 本部事務局へ提出のこと。

【問合せ先】

JSAF 本部事務局 寺澤一

〒150-8050

渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

TEL 03-3481-2357 FAX 03-3481-0414

E-Mail: head@jsaf.or.jp

・詳細情報は JSAF ホームページをご覧ください。

## 進化した和歌山 NTC Smart Edge—セーリング・ライブラリー

和歌山 NTC が管理・運営する「Smart Edge—セーリング・ライブラリー」はパソコンがあればどこでも、いつでも利用できるセーリング映像の検索データベースです。

この検索データベースは JISS(国立スポーツ科学センター)が開発したもので、JSAF はこれを誰でもが使えるライブラリーとして活用しています。

そしてこのたび、本システムが PC ブラウザ、iPad、iPhone、Android で閲覧できるようになり、ロンドン五輪の放送等でご覧いただけるようになりました。

オリンピック映像は会員スペシャルチャンネルをご覧ください。ただし、11月以降は会員スペシャルチャンネルへのアクセスは JSAF 会員 ID のみからとなりますので、ご注意ください。

今後さらにコンテンツを充実させ、メンバーの方々の便に供したいと考えています。ぜひとも一度アクセスし、「Smart Edge—セーリング・ライブラリー」を体験してください。

具体的な使用方法は JSAF ホームページの下記 URL をご覧ください。

● JSAF ホームページ [http://www.jsaf.or.jp/news/2012/smart\\_edge.pdf](http://www.jsaf.or.jp/news/2012/smart_edge.pdf)

● 和歌山セーリングセンター <http://www.wakayama-sailing.org/>



RESPECT THE ELEMENTS™



®

www.gill.jp  
Fortune Corporation  
info@gill.jp

私たちは、BNPパリバです。



BNPパリバグループはその支店や子会社を通じ世界各国で業務を提供しています

◎日本における主要法人：BNPパリバ証券株式会社（証券・投資銀行業務）／BNPパリバ銀行（法人向け銀行業務）／BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社（資産運用業務）／カーディフ生命保険会社／カーディフ損害保険会社（保険業務）

www.bnpparibas.com  
www.bnpparibas.co.jp

The bank for a changing world



**YANMAR**

Solutioneering Together

100th  
ANNIVERSARY

目指すゴールはひとつ。

世界的セーラーPeter Gilmour率いる「YANMAR Racing」は、様々な国籍を持つクルーが力を一つにゴールを目指すプロセーリングチームです。私達ヤンマーは、世界130カ国以上の海・大地・都市を舞台に、総合力で人々の暮らしに笑顔と満足を提供します。



**YANMAR**  
Racing

www.yanmar.co.jp/en/racing/

〒530-8311 大阪市北区鶴野町1番9号 梅田ゲートタワー ヤンマー株式会社

病院部門

北柏リハビリ総合病院(217床)

健診センター

柏健診クリニック  
汐留健診クリニック

クリニック部門

西浦眼科  
まちや外科内科  
梅郷整形外科クリニック(13床)

訪問看護ステーション

北柏訪問看護ステーション

在宅福祉事業部門

エンゼルサービス野田(訪問介護)  
エンゼルサービス柏(介護ショップ・訪問介護)

介護老人保健施設部門

梅郷ナーシングセンター(124床)  
北柏ナーシングケアセンター(120床)

介護老人福祉施設部門

みゆきの郷(120床)  
流山こまぎ安心館(110床)

介護福祉部門

梅郷ナーシング居宅介護支援事業所  
北柏リハビリ総合病院居宅介護支援事業所  
居宅介護支援センターみゆき  
居宅介護支援事業所 こまぎ安心館

研究部門

日本成人保健医療問題研究所



「感謝な心」で  
信頼の医療サービスを  
ご提供いたします

**天宣会グループ**

〒277-0021 千葉県柏市中央町1-1 TEL 04-7167-6667(代表) www.tensenkai.or.jp

**CASIO**



必要な機能へ、  
スマートにアクセスする。

ワールドタイムをはじめとする多彩な機能を感覚的に操る「スマートアクセス」を搭載し、操作までもエレガントに。オシアナス第二章の幕開けを告げる〈マンタ S2000〉登場。  
Elegant Style + Smart Access



電波ソーラーのフラッグシップとして。



OCW-S2000-1A1F ¥150,000(税込¥157,500) oceanus.casio.jp

# 国際VHF無線用免許講習会

船社主催  
KAZI マリンスクール  
海上特殊無線技士講習会を  
10%割引で受講できます

**JSAFメンバー  
限定割引**

## 専用申込書が 必要です

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書が必要です。専用申込書はJSAFホームページからダウンロードするか、KAZIマリンスクールまでお電話でご請求ください。

**[お問い合わせ・申込用紙請求先]**  
JSAF外洋安全委員会ホームページ  
[jsaf-azen.jp/1-7-2.html](http://jsaf-azen.jp/1-7-2.html)  
KAZIマリンスクール  
TEL 03-3434-0941

必ず  
JSAFメンバー  
専用申込書と  
お伝え下さい。

## お申し込みは、 ファックスで、 JSAFまで

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書に必要事項をご記入いただき、JSAF外洋安全委員会までFAXにてお申し込み下さい。

**[受講申込みFAX送付先]**  
JSAF外洋安全委員会  
FAX 045-544-5813

## お支払はカード、 現金書留、 お振込等で

JSAF外洋安全委員会にお申し込み後、KAZIマリンスクールより受付確認の連絡を入れさせていただきます。その際にお支払方法をご指定ください。各種クレジットカード、銀行振込、現金書留でのお支払がご利用いただけます。また、システムKAZI会員の方はシステムKAZI自動引き落としもご利用いただけます。

## 第3級海上特殊無線技士

**[受講料]**  
23,000円 ▶ **JSAF会員  
限定価格 20,700円(税込)**  
(免許申請料、教科書代含む)

国際VHF、5Wまでの運用ができる資格です。1日6時間の講習を受講し、修了試験に合格すると資格を取得できます。どなたでも受講出来ます。

第32回  
大阪  
教室  
**2012.11.18(日)**  
AM9:00 - PM6:00

**[会場]** 此花会館 402、403号  
大阪市此花区西九条 5-4-24  
**[定員]** 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

第33回  
東京  
教室  
**2012.12.9(日)**  
AM9:00 - PM6:30

**[会場]** LMJ 東京研修センター 5F 特大会議室  
東京都文京区本郷 1-11-4 小倉ビル(東京ドーム近く)  
**[定員]** 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

(軽減コース)

## 第2級海上特殊無線技士

**[受講料]**  
28,000円 ▶ **JSAF会員  
限定価格 25,200円(税込)**  
(免許申請料、教科書代含む)

第2級は国際VHF25WまでとDSCの運用が出来る資格です。軽減コースは第3級からのステップアップコースで、第3級海上特殊無線技士資格を持つ人のみ受講可能です。1日7時間の講習を受講し、終了試験に合格すると資格を取得できます。

第20回  
東京  
教室  
**2013.1.27(日)**  
AM9:00 - PM7:30

**[会場]** LMJ 東京研修センター 3F 大会議室  
東京都文京区本郷 1-11-4 小倉ビル(東京ドーム近く)  
**[定員]** 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

第21回  
大阪  
教室  
**2013.2.24(日)**  
AM9:00 - PM7:30

**[会場]** 此花会館 402、403号  
大阪市此花区西九条 5-4-24  
**[定員]** 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

●最新の講習会日程については、KAZIホームページをご覧頂くか、KAZIマリンスクールまでお問い合わせください。●各回定員になり次第締切となります。●申込書をご送付いただいた場合でもお断りする場合があります。●受講料入金時をもって正式申込みとさせていただきます。●完全予約・定員締切制のため正式申込み後の日程変更および返金はできません。

受講申込みFAX送付先  
JSAF外洋安全委員会

# FAX 045-544-5813



## NO.97

佐賀県が天皇杯、岐阜県が皇后杯を獲得した第67回国民体育大会セーリング競技会は10月4日～7日、愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバーで行われた。写真は表彰式での佐賀県チームのガッツポーズ(撮影/濱谷幸江)

### メッセージ

ウインドサーフィンに替えカイトボードを次期オリンピック種目とする議論が国際セーリング連盟 (ISAF) で進んでいます。専門誌にも興味深い記事が掲載されていました。セーリングはもっとも時間と費用がかかるにもかかわらず、2008年北京オリンピックのテレビ中継でもっとも視聴率の低い競技種目だったと言われています。収入源の65%をIOCに依存するISAFにとって、

オリンピック中継の低迷は組織の危機ともなる、と報告されています。そんな事情を背負ったISAF理事の目には、カイトの登場は起死回生の華やかな道筋と映っているのかもしれませんが、ここでカイトの是非を問うものではありませんが、我々はセーリングに縁もない一般に理解してもらおう努力を十分にしてきたのか。そんな教訓を胸に刻みながら議論を見守りたいと思います。

広報委員会 J-SAILING編集人 柳澤康信

### 平成24年度賛助会員

### ロンドン募金 寄付・協賛社

巴工業 山本光学 ラジエ工業 (株)ジェイ・ウィル・パートナーズ 医療法人健育会  
中村興業(有) (株)TESホールディングス (株)ヘルスケアシステムズ アビームコンサルティング(株)

### 環境キャンペーン・協賛社

JFEホールディングス(株) ヤンマー(株) (株)トーヨーアサノ (株)ノエビア・ホールディングス  
テクノヒル(株)

### 外洋キャンペーン・協賛社



45rpm studio co., ltd. 

JAPAN AIRLINES



新しい翼で、世界の空へ。

昭和42年12月25日第三種郵便物認可 平成24年10月25日発行 通巻451号

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

定価300円

NO.97



明日の空へ、日本の翼